



劇場版
ポケットモンスター
POCKET MONSTERS

ミュウツーの
MEWTWO STRIKES BACK!

逆襲



かいせつ

「ポケットモンスター」略して「ポケモン」。

動物図鑑には載っていない不思議な生き物

たち。ポケモンは1996年2月28日、

任天堂のゲームボーイとして登場。

同日、小学館の別冊コロコロコミック

スペシャル4月号から連載が開始された。

ゲームの原作は田尻智氏。約6年もの構想期間と、

ゲームプロデューサーの石原恒和氏の協力を得て完成。そして、

その人気は瞬く間に全国の子供たちに広がった。以後、コロ

コロコミックを中心とした雑誌展開、カードゲーム、キャラ

クターグッズ、イベント・音楽展開、そして、1997年4月から

テレビ東京系全国6局ネットでオリジナルTVアニメとして

スタート。ゲームフィールドでの採取(コレクト)育成(グロウ)

通信交換(トレード)対戦(バトル)といったの楽しみに、テレビ

アニメで世界(ワールド)を駆け、今回待望の劇場版で、

さらなる夢(ドリーム)を膨らませた。そしてこれ

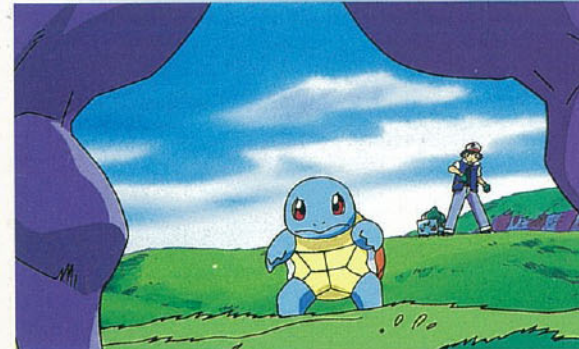
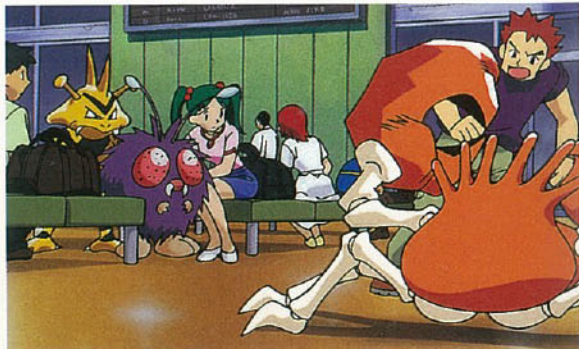
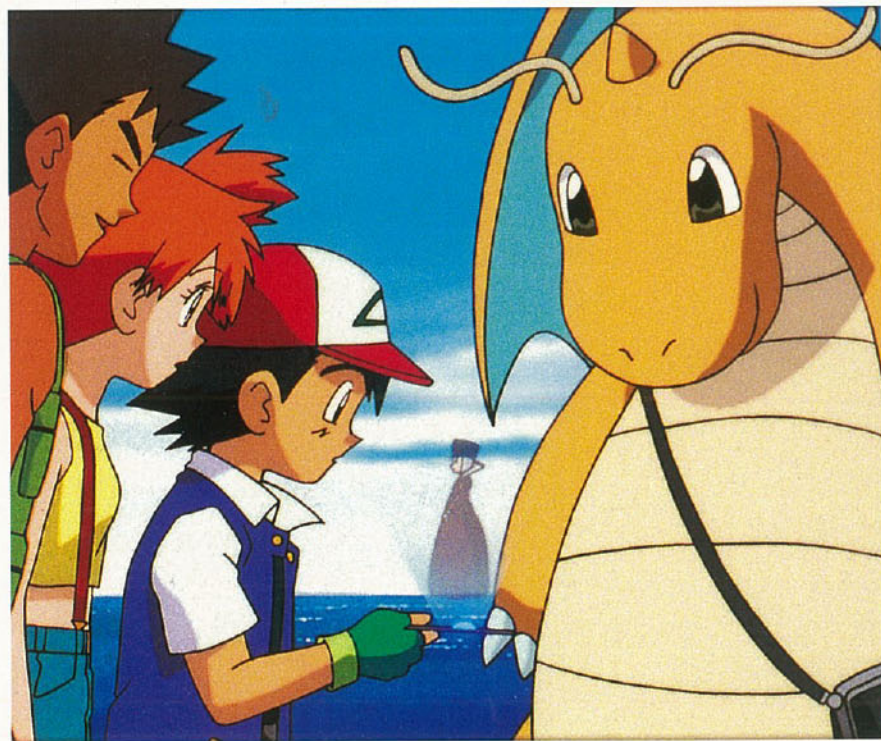
からも、夢と勇気と希望に満

ちたポケモン・ファンタジーが

展開されていく。



ポケモン史上、最高で最強のバトルがいま、始まろうとしている。



ものがたり

ポケモンマスターを目指し、修行の旅を続けるサトシ達のもとに、一通の招待状が届いた。しかしそれは、ミュウツーの罠であり、計画であった。そうとも知らず、サトシたちは大荒れの海を渡って会場へとむかう。そこで待ち受けていたのは、オリジナルをゲットし、さらに強いポケモンを作り、人間たちへの逆襲を計画する最強のポケモン「ミュウツー」だった。計り知れないミュウツーのパワーに圧倒され、サトシたちがピンチを向かえた時、あの幻のポケモン「ミュウ」が現われた。かくしてミュウとミュウツーはポケモン史上最高で最強のバトルへと突入

していくのだった。一体勝つのはどっちだ?! 同時上映の「ピカチュウのなつやすみ」は、TVアニメでは味わえないポケモン世界が、楽しい音楽とともに広がっているポケモンプラスミュージックファンタジー。さあ、みんなもピカチュウといっしょに、ポケモン広場で遊ぼうよ!

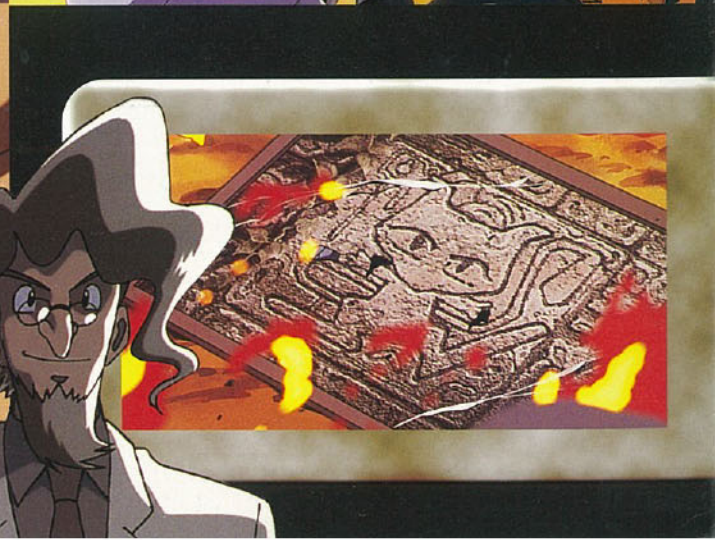
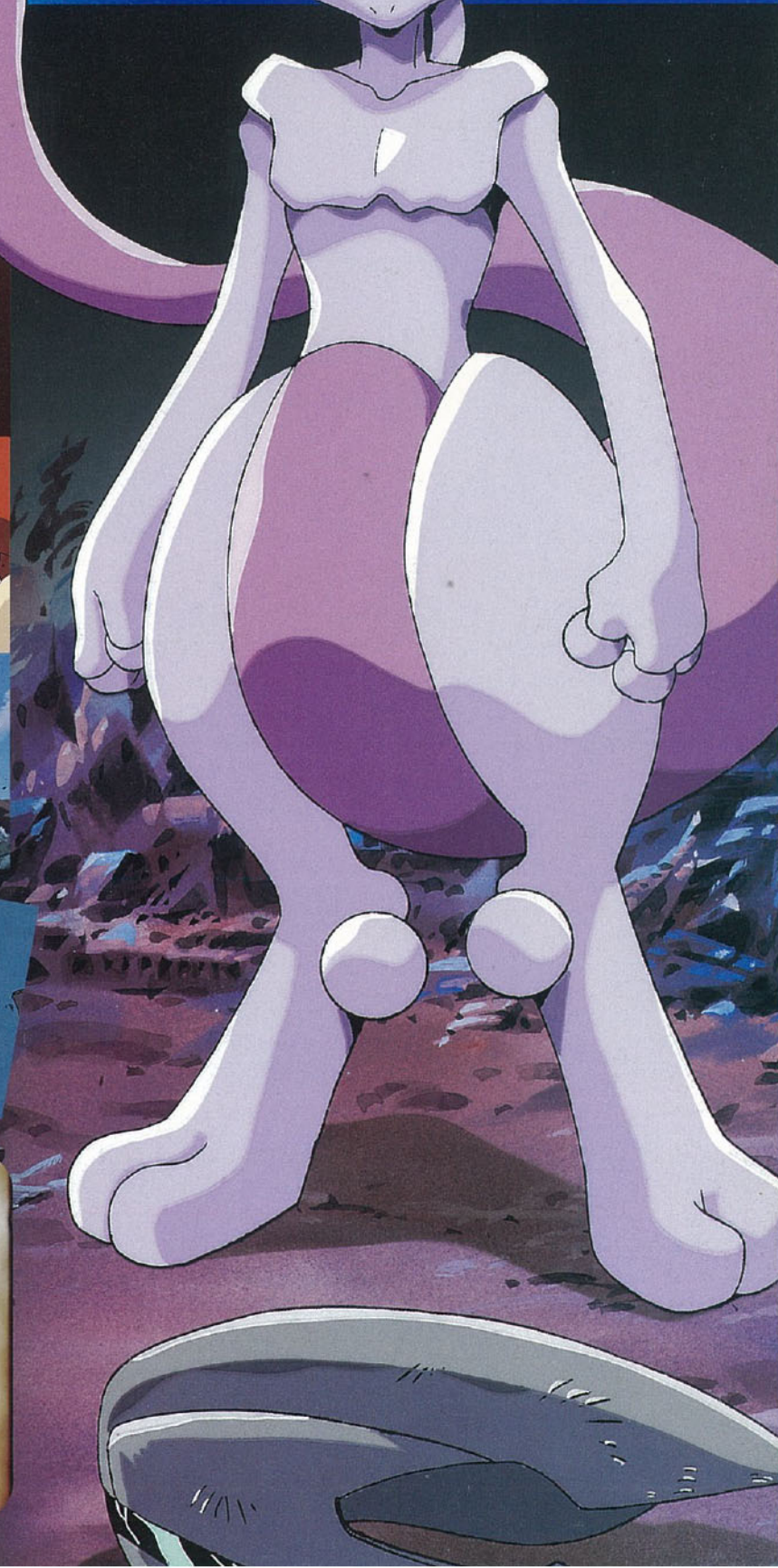
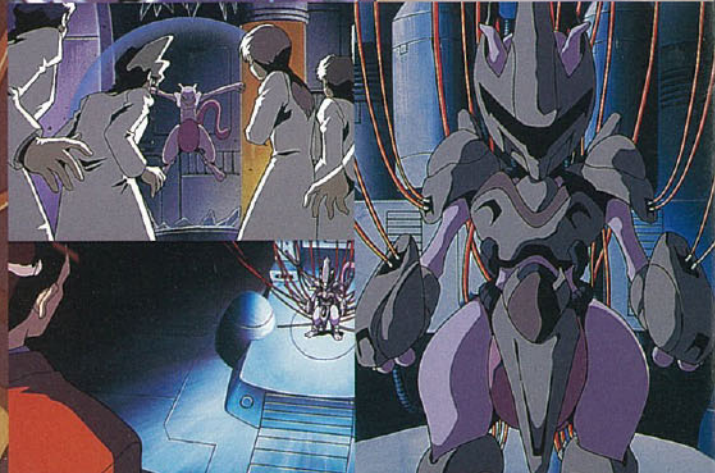
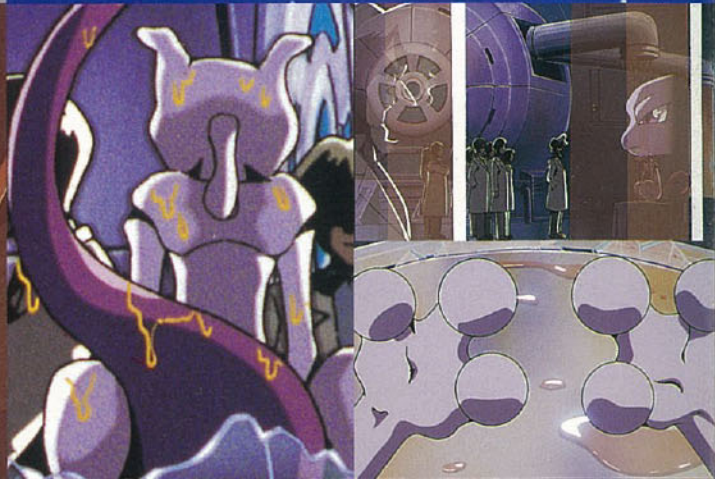


わたしは誰だ……わたしはわたしを生んだ

おそろべきパワー。嵐さえも呼び起こす超能力。
そして、優れた頭脳。ミュウツーはあらゆる能力を
兼ね備え、人間の手によって作られた。
しかし、ただひとつ、足りないものがあつた。
それは、愛——。

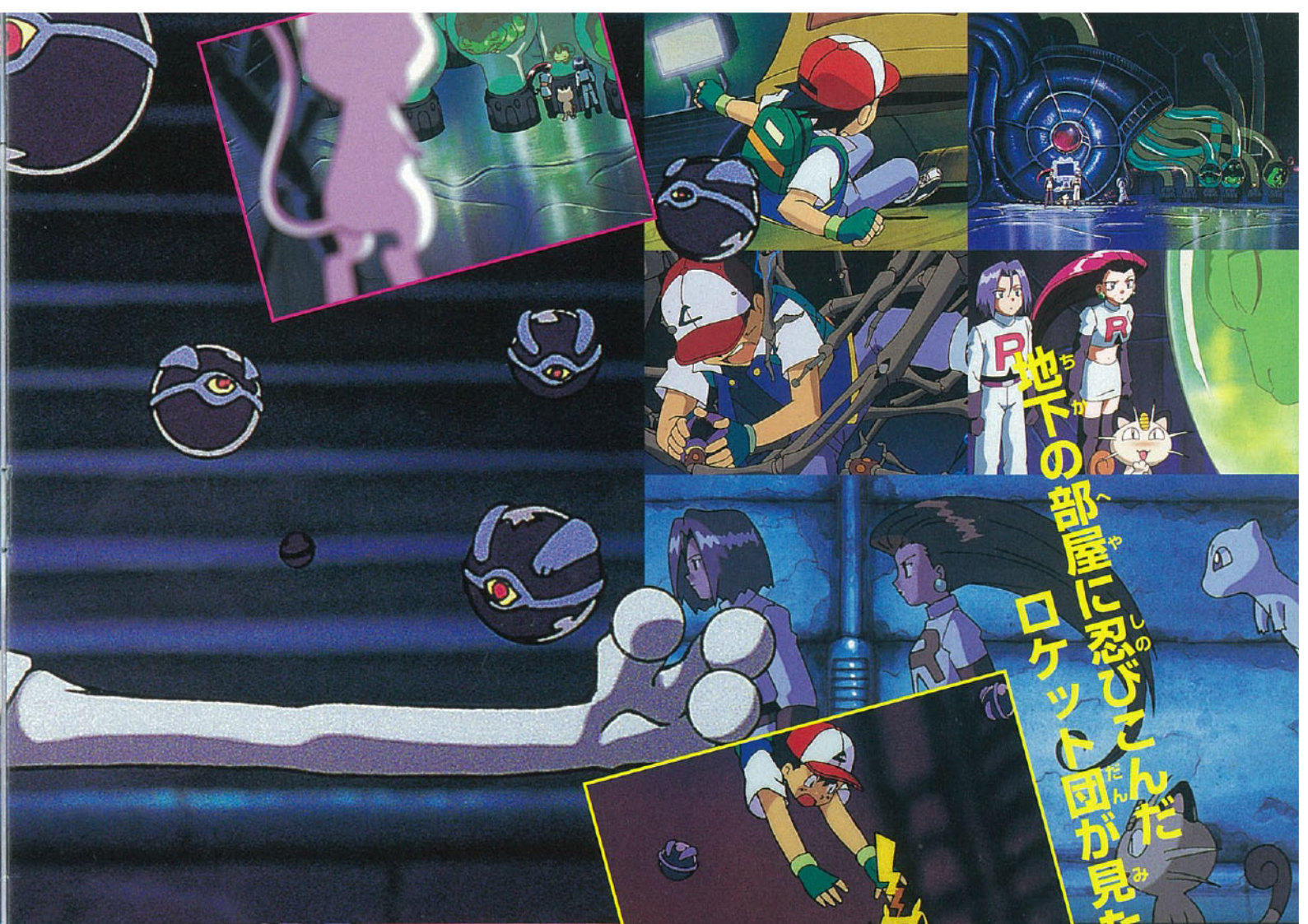
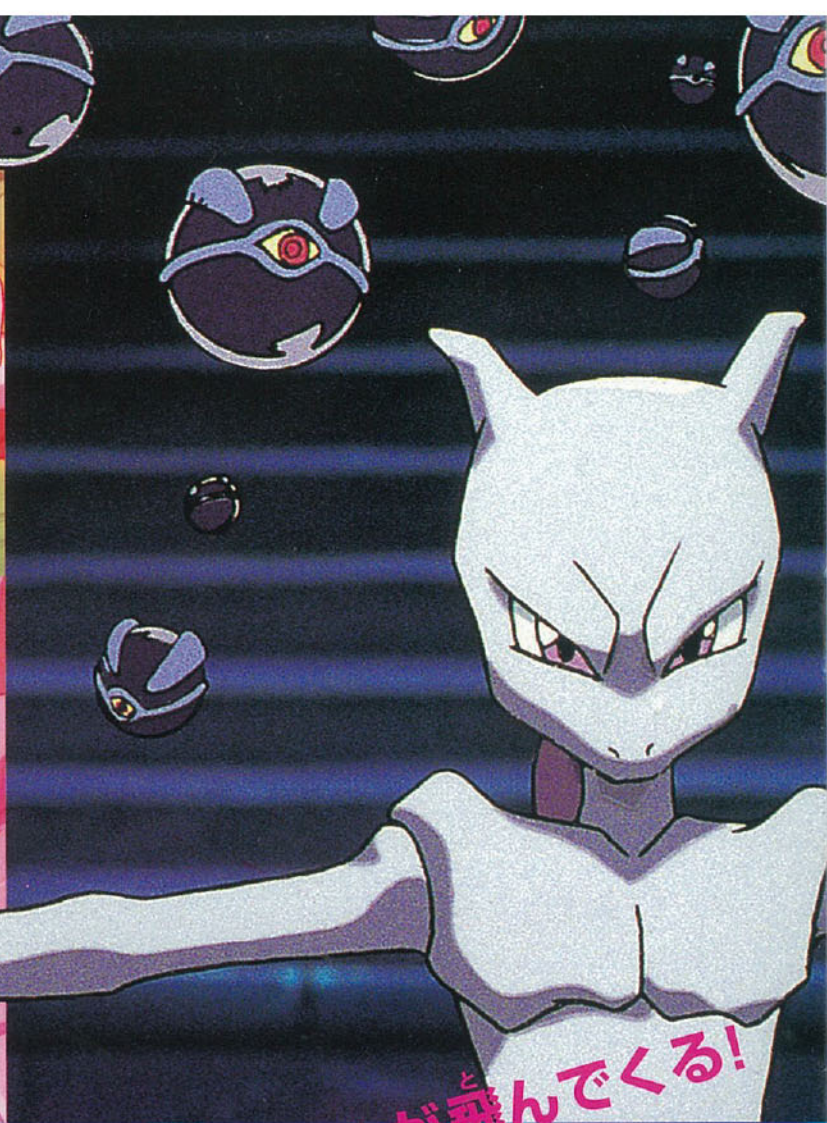
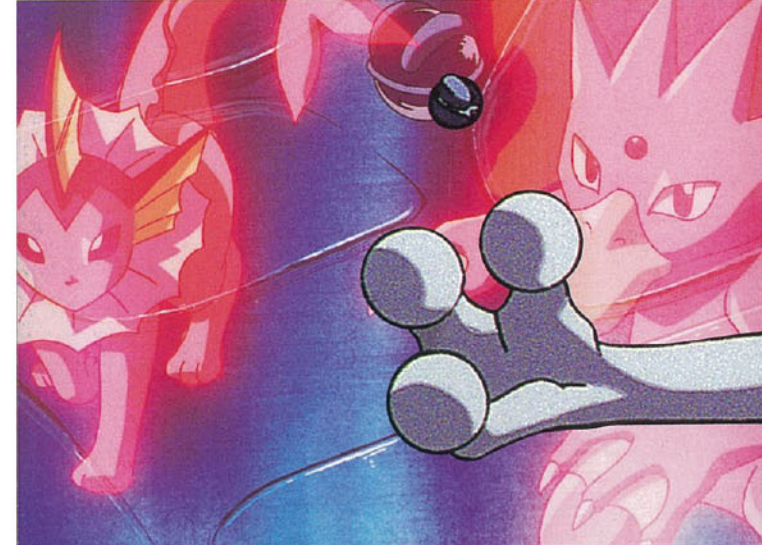
すべてを憎む。これは、人間たちへの逆襲だ!

コピー(分身)が本物よりも優れたポケモンであると
信じているミュウツーは、あらゆるポケモンをゲットし、
コピー(分身)を生産しようとしている。そして、
この星を支配することによって
人間たちに逆襲するのだと考えた。



まぼろしのポケモン、「ミュウ」。

世界で一番珍しいとされるポケモン。
人間はその化石をアマゾンの奥地で発見する。
そして、その化石をもとに「ミュウツー」を
誕生させた。しかし、その結果が
もたらしたものは…。

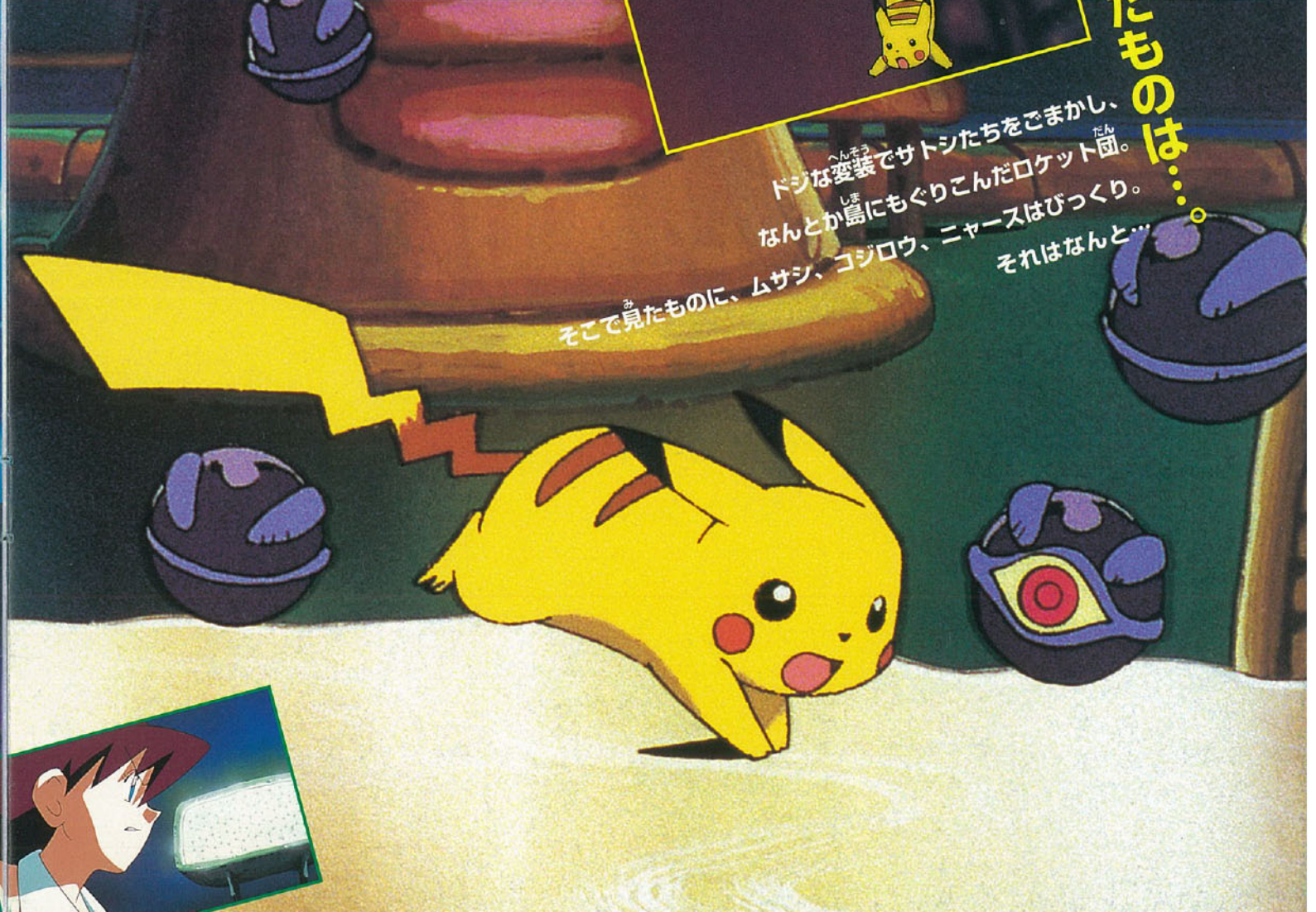
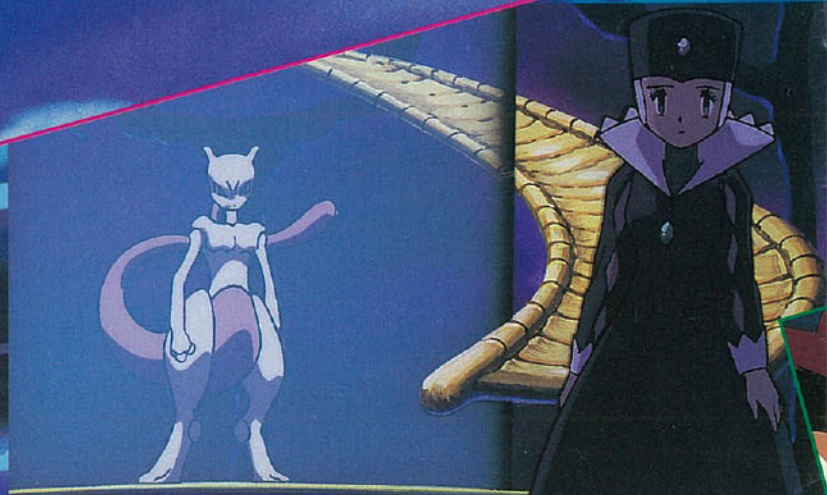
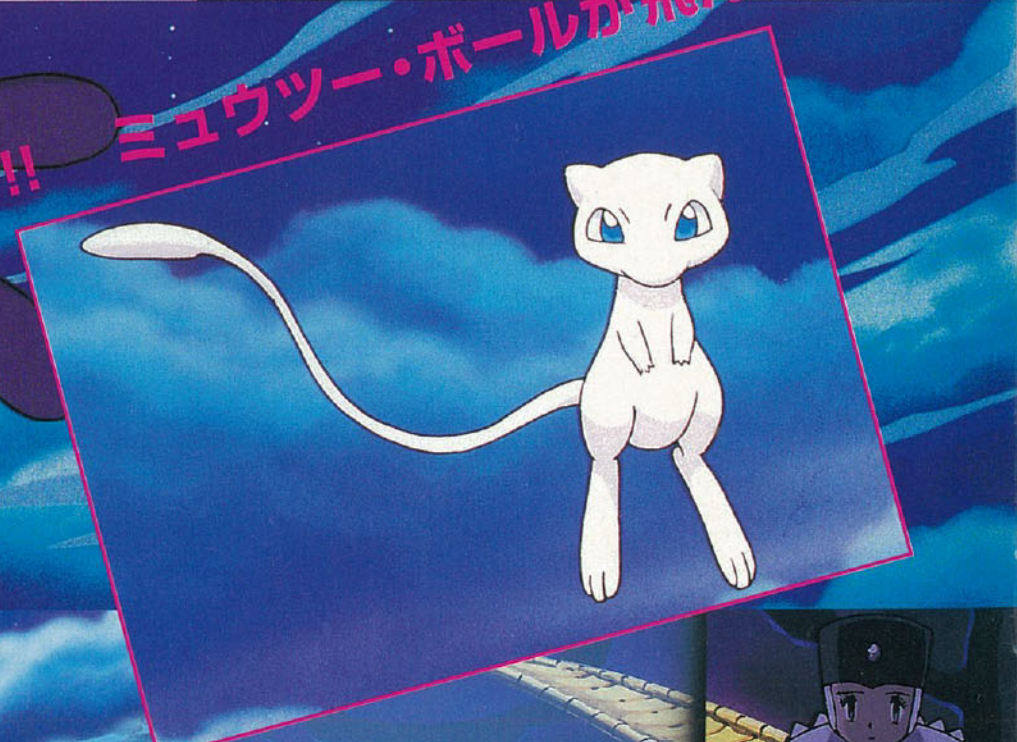


ミュウツー・ボールが飛んでくる!



逃げる、ピカチュウ!!

しつこく追いかけてくる
ミュウツー・ボール。逃げまわる
ピカチュウ。しかし、ついに…。
サトシ、早くピカチュウを助けて!



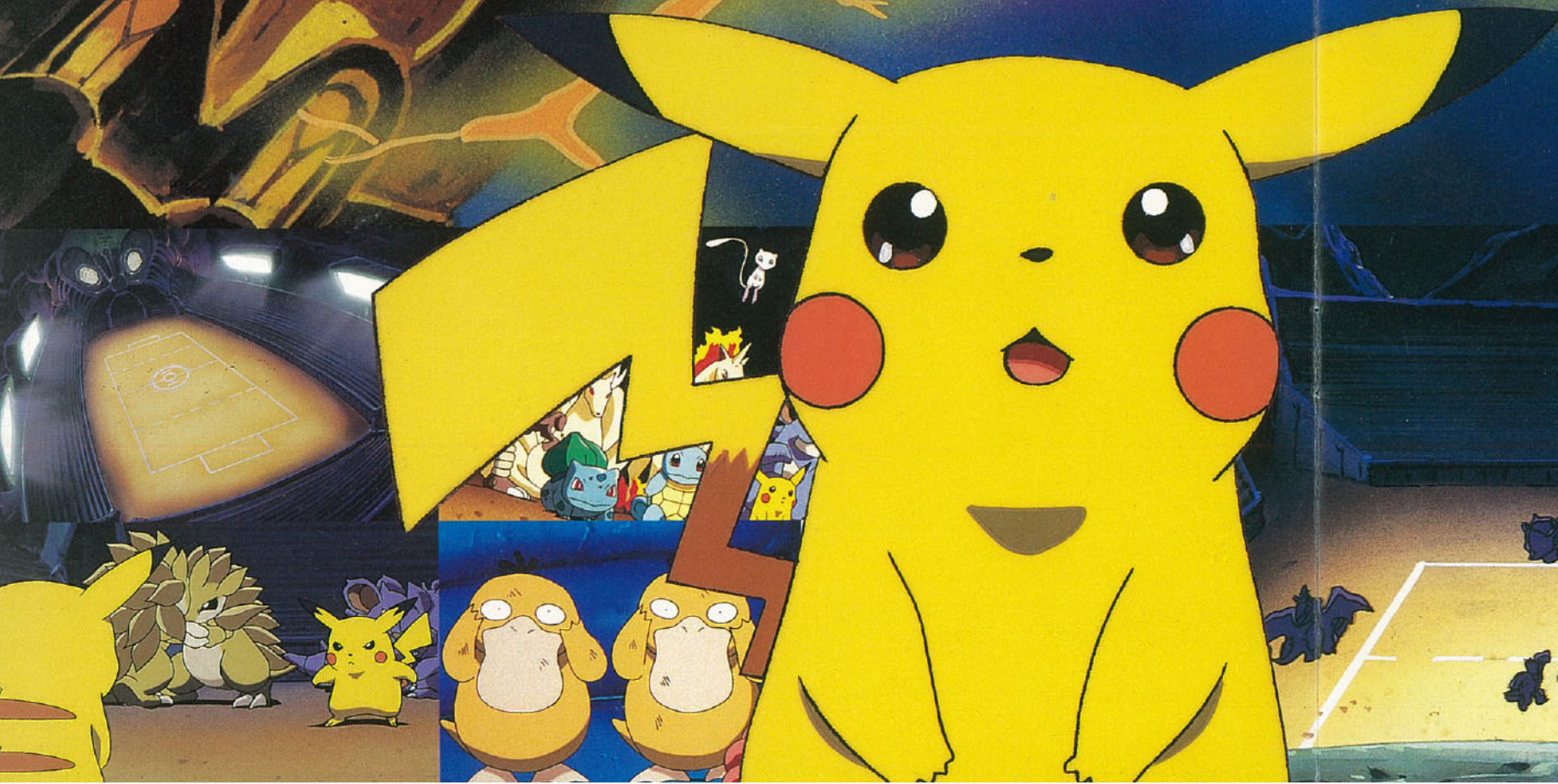
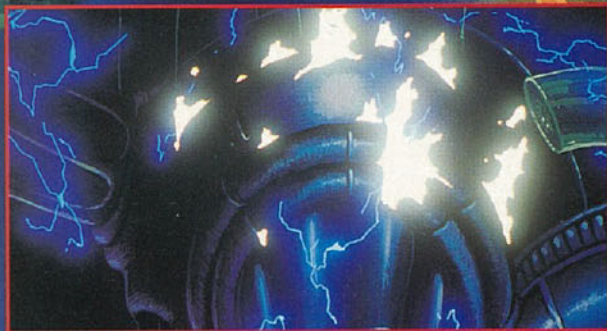
ドジな変装でサトシたちをごまかし、
なんとか島にもぐりこんだロケット団。
そこで見たものに、ムサシ、ゴジロウ、ニャースはびっくり。
それはなんと…

地下の部屋に忍びこんだ
ロケット団が見たものは…



勝つのは本物か、それともやはりコピー(分身)の方が強いのか…?

生き残りをかけて本物とコピー(分身)のバトルが始まった。しかしそれは、自分で自分を傷つけるような、きりりと胸が苦しくなる、そんなバトルであった。違う、なにかが違う、こんなのポケモンバトルじゃない。ここからポケモンを愛しているサトシは体をはってミュウツーに向かっていく。勝つのは本物か、それともコピー(分身)なのか？ポケモン史上例のないバトルが今、始まった。



『ミュウツーVSミュウツー』。ポケモン史上最強のバトル！



PIKACHU
THE
MOVIE



東映アニメーション